

- 近年、森林や地域材の関心が低くなり森林のもつ水源涵養性や山地災害防止機能など、森林機能の重要性が忘れられ、森林の保全活動が放置されつつあります。そのため、中学生の木工体験や森林学習を通して森林及び県産材利用の重要性を学ぶ場を設置し、県産材の循環利用や森林整備の推進を促すことを目的に実施している。

## □ 事業内容

### 木島平中学校木育授業

- ・ 木工製作
- ・ 製材見学
- ・ 伐採見学など

【事業費】419千円（うち譲与税419千円）  
（譲与税は講師謝金、木材や塗料に係る部分に充当）

【実績】生徒35名  
製材見学、伐採見学各クラス1回ずつ  
木工体験

## □ 取組の背景

・ 中学生の木工体験や森林学習を通して森林及び県産材利用の重要性を学ぶ場を設置し、県産材の循環利用や森林整備の推進を促すことを目的に実施した。



（伐採見学）



（木工体験）



（完成写真）

## □ 工夫・留意した点

・ 地域の方と連携を図りながら、植える・育てる・収穫する・使用するの木材の循環をより身近に実感してもらう、体験してもらうよう配慮した。また、木材が持っている可能性として、カーボンニュートラルに貢献できるなど、非常に重要な役割を果たすなど、講義を交えることで伝えていった。

## □ 取組の効果

・ 実際に木工体験、製材見学、伐採見学や講義などを通して、県産材の循環利用や森林整備の推進を促進した。また、製作した遊具やベンチ、イスなどを保育園などで使用すること、文化祭で展示することにより地域の方へのPRにも繋がった。

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：8,932千円	②私有林人工林面積（※1）：1,142ha	
③林野率（※1）：81.6%	④人口（※2）：4,375人	⑤林業就業者数（※2）：12人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より